



ファームウェアバージョン:	R4.2.0.11
ハードウェアバージョン:	A1
発行日:	2017/5/26

本リリースノートには、D-Link 製アクセスポイントのファームウェア更新に関する重要な情報が含まれています。ご使用のアクセスポイントに対応するリリースノートであることを確認してください。

- 新しいアクセスポイントにインストールを行う際には、デバイス上のハードウェアバージョンの表示を確認し、ご使用のアクセスポイントがファームウェアのシステム要件を満たしていることを確認してください。ファームウェアとハードウェアの互換性についての詳細情報は、“変更履歴とシステム要件”の項を参照してください。

アクセスポイント本体に関する詳細な情報が必要な場合は“ユーザマニュアル”を参照してください。

目次：

変更履歴とシステム要件：	2
アップグレード手順：	2
Web GUI を使用したアップグレード	2
追加機能：	4
修正した問題点：	4
既知の問題：	5

変更履歴とシステム要件：

ファームウェアバージョン	リリース日付	モデル	ハードウェアバージョン
ランタイム: R4.2.0.11	2017/5/26	DWL-6600AP	A1

アップグレード手順：

R4.2.0.9B029 以前のファームウェアからのアップグレードは、同じ手順で、必ず 2 度続けて行ってください。

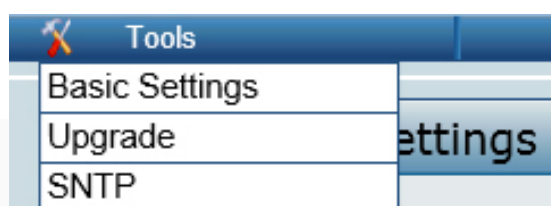
1 回目のアップグレードのみだと、ブートオプションがセットされないためです。

R4.2.0.9 以前の旧バージョンからファームアップする場合、ファームアップ後にファクトリリセットを行う必要があります。

ファームウェアのアップグレードは、Web GUI から行うことができます。アップグレード方法は次の「[WEB GUI を使用したアップグレード](#)」の手順に従い進めてください。

Web GUI を使用したアップグレード

1. 本製品と設定用の PC を接続後、WEB ブラウザを立ち上げ、アドレスバーに WEB GUI の管理画面を表示します。
※ 工場出荷時状態の IP アドレスは http://10.90.90.91 です。
※ IP アドレスを変更している場合は、変更後の IP アドレスを入力してください。
2. WEB GUI のログイン画面が表示されたら、ユーザ名とパスワードを入力し、ログインしてください。
※工場出荷時状態のユーザ名は「admin」、パスワードは「admin」です。
3. ログイン後、上部のメニューから「Tools」 -> 「Upgrade」の順でクリックします。



4. 「HTTP」または「TFTP」を選択します。



HTTP 経由でファームウェアのアップグレードを行う場合：

- (1) [参照]/[Browse]ボタンをクリックしてローカル PC 内のファームウェアファイルを指定 → [Upgrade]ボタンをクリックします。
- (2) 確認画面が表示されるので、「OK」をクリックします。
- (3) 経過画面が表示されますのでしばらくお待ちください。

注意：ファームウェアのダウンロード中およびスイッチの再起動中に、電源を切らないでください。電源を切ると、起動に失敗し、起動できなくなることがあります。故障の原因となりますので、ご注意ください。

- (4) アップグレード完了後、本製品は再起動します。
ログインし、「Maintenance」>「Upgrade」メニューで、ファームウェアがアップグレードされたことを確認してください。
- (5) R4.2.0.9B029 以前のファームウェアからのアップグレードの場合は、続けて、さらにもう 1 回手順 (1) ～ (4) を繰り返してください。
- (6) さらに、Telnet もしくはコンソールにより、下記のコマンドの出力結果が同じバージョンになっていることを確認してください。
bootenv -d bootver
bootenv -d altbootver
※どちらかのコマンドによる出力が 4.2.0.11 になっていない場合は、再度手順 (1) ～ (4) を繰り返してください。

TFTP 経由でファームウェアのアップグレードを行う場合：

- (1) [Image Filename]と[Server IP]を入力 → [Upgrade]ボタンをクリックします。
- (2) 確認画面が表示されるので、「OK」をクリックします。
- (3) 経過画面が表示されますのでしばらくお待ちください。

注意：ファームウェアのダウンロード中およびスイッチの再起動中に、電源を切らないでください。電源を切ると、起動に失敗し、起動できなくなることがあります。故障の原因となりますので、ご注意ください。

- (4) アップグレード完了後、本製品は再起動します。
ログインし、「Maintenance」>「Upgrade」メニューで、ファームウェアがアップグレードされたことを確認してください。
- (5) R4.2.0.9B029 以前のファームウェアからのアップグレードの場合は、続けて、さらにもう 1 回手順 (1) ～ (4) を繰り返してください。
- (6) さらに、Telnet もしくはコンソールにより、下記のコマンドの出力結果が同じバージョンになっていることを確認してください。
bootenv -d bootver
bootenv -d altbootver
※どちらかのコマンドによる出力が 4.2.0.11 になっていない場合は、再度手順 (1) ～ (4) を繰り返してください。

追加機能：

ファームウェアバージョン	追加機能
R4.2.0.11	1. スタンドアロンモードで Wireless ARP Suppression モードに対応致しました。

修正した問題点：

ファームウェアバージョン	修正した問題点
R4.2.0.11	<ol style="list-style-type: none"> 1. WLAN ホストからの Facebook Wi-Fi 認証に時間がかかる問題を修正致しました。 2. WPA Enterprise 認証で複数端末の同時認証に対応できない問題を修正致しました。 3. ネットワークへの接続時、クライアントが MAC アドレス認証を完了していない場合でも、該当クライアントの MAC アドレスを持った LLC (XID) フレームが LAN 側のポートに送信される問題を修正致しました。 4. DWL からのメール通知が、SMTP-ALG を有効にしたルータや FW で破棄されることがある問題を修正致しました。 5. DWS-3160 からの RADIUS リクエストの処理を停止する問題を修正致しました。 6. Daylight Saving Time が有効化されているとき、時刻が更新されない問題を修正致しました。 7. Web サーバ証明書に SHA-256 署名アルゴリズムで署名できるように修正致しました。 8. CLI からパスワードの変更を行った後でも、接続中の GUI セッションが期限切れとにならない問題を修正致しました。 9. SSH サービスを無効化した後でも、接続中の SSH セッションが期限切れとにならない問題を修正致しました。 10. CVE-2015-1790/1792、CVE-2012-4929、CVE-2013-2566、CVE-2016-2106 の脆弱性を修正致しました。 11. GUI で利用可能な NTP オプションを CLI でも利用できるように修正致しました。 12. SNMP Configuration 画面の"Read-write community name"項目の入力値について、最大文字数を検証するように修正致しました。 13. DWC-1000 からコンフィグをプッシュしたとき、帯域チャンネルが更新されない問題を修正致しました。 14. スケジュールプロファイルを Weekend に設定した場合、RF スケジューリングが動作しない問題を修正致しました。 15. Managed モードでデバッグモードを設定している時、ログイン時に 32 文字を超えるパスワードを受け付けられない問題を修正致しました。 16. サマータイム以外の時間、またはサマータイムがない国の場合でも、時刻が変更される問題を修正致しました。 17. VAP 画面で無効な Broadcast Key Refresh Rate を設定しても、適切なエラーメッセージが表示されない問題を修正致しました。 18. SNMP Configuration 画面の"Hostname, address, or subnet of Network Management System field"項目に無効な IP アドレスが入力できてしまう問題を修正致しました。 19. パケットキャプチャ構成で、マルチキャスト MAC アドレスを受け付けてしまう問題を修正致しました。 20. SNMP Configuration 画面で、"Community name for traps"と"Host name or IP Address"項目に最大文字数を入力できない問題を修正致しました。

	<ul style="list-style-type: none"> 21. date and time 設定ページで Offset 値が正しく表示されない問題を修正致しました。 22. SNMPv3 Users 設定の Help 画面において、設定可能なユーザの最大数に関する説明を追加致しました。 23. CLI による設定の場合、Management ACL のブロードキャスト/マルチキャスト IP アドレスの検証が行われない問題を修正致しました。 24. AP の時刻が 2017 年以降に設定された場合、Http Certificate Expiration Date が正しく更新されない問題を修正致しました。 25. SNMP Configuration 画面のホスト名入力欄で、最大文字数が 253 文字にも関わらず 256 文字を受け付ける問題と、IPv4 アドレス入力欄にマルチキャスト IP が設定された際のエラーが正しく表示されるように修正致しました。
--	--

既知の問題：

ファームウェアバージョン	既知の問題
R4.2.0.11	<ul style="list-style-type: none"> 1. GUI アクセスが遅くなることがある問題。 2. CLI から Radio ページの自動チャンネルオプションを設定しても GUI に反映されない問題。 3. Client QoS ACL 画面の Help ページにスペルミスが存在する問題。 4. 5GHz で確立した WDS リンクでインターネット 8.8.8.8 に Ping すると 10 以上連続で Ping ロスが発生する問題。 5. 2.4Ghz 及び 5Ghz 帯における LAN から WLAN への iperf トラフィックを処理中に、Null 値（ゼロ）が確認される問題。 6. RADIUS サーバによる VID 割り当ての際、クライアントが常に VID 1 を取得し、ダイナミック VLAN が正しく動作しない問題を修正致しました。 7. SNMPv3 のユーザ名／認証タイプ／キーが CLI から設定できない問題。 8. ユーザが間違ったサーバ IP で不正な SSL 証明書もしくは有効な証明書をアップロードしようとした際に正しいエラーメッセージを表示しない問題。 9. ピア設定を送信すると EmWeb がハングする問題。 10. Client QoS ACL で IPv6 : IGMP だけを許可しても失敗する問題。 11. クラスタコントローラが RADIUS-power-set AP に対して出力を変更させる問題。 12. アクセスポイントの IP アドレスが x.x.x.255 に設定されると、他のデバイスと通信できなくなる問題。対応策：アクセスポイントのアドレスの末尾を 255 にしないでください。

Copyright 2006-2017 D-Link Japan K.K.